

お知らせ

初めての方も大歓迎です。ぜひご参加ください。

環境ボランティアのご案内

毎月第2・4火曜日 9:00~
(病院の周りの環境整備です)
病院玄関に集合です。

燃やせ体脂肪教室

影森教室…毎週火曜日 13:30~15:00

会場 秩父スポーツ健康センター

皆野教室…毎月第2・4木曜日 9:30~

会場 皆野町柔剣道場

長瀬教室…毎月第2木曜日 13:30~

会場 長瀬中央公民館

※事前にご連絡ください。参加費無料

スポーツ吹矢教室

心肺機能を高める効果があります。
毎週水曜日 15:00~17:00

会場 秩父生協病院 1階ロビー

指導は (一社)日本ウェルネス
スポーツ吹矢協会

参加費 入会金1,000円・月500円
※初回1ヶ月は無料体験

自衛術(じまようじゅつ) 講師:堀口緑先生

毎月第2・4金曜日 18:00~19:30

会場 秩父生協病院

参加費 月1,000円

太極拳 講師:坂本京子先生

毎月第4火曜日 14:30~16:00

会場 秩父生協病院 1階ロビー

参加費無料

ロコモ体操

(筋力アップ体操とウォーキング)

毎月第1・3木曜日 14:00~

会場 柳田集会所

※希望の方は各相談場所へ
お申込みください。



無料法律相談 13時~

4/3(水) 秩父生協病院にて(☎23-1300) ※希望の方は相談場所へ
5/1(水) 秩父民商事務所にて(☎23-8154) お申込みください。

4月診療体制のご案内

急きょ変更になる場合があります。【 】内は専門

診療受付時間		月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	内科	山田 昌樹 (院長)	吉野 隆之 *2毎週11時~ もの忘れ外来 「予約制」	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)	山田 昌樹 (院長)	*1 6日:村岡・担当医 13日:吉野・担当医 20日:吉野・担当医 27日:村岡・担当医 *院長・吉野・村岡 医師は、総合診療 内科医です。 *1 土曜日の医師体制は輪 番制のため、急遽変更 となることがあります。 予めご了承ください。 *2 もの忘れ外来は毎週火 曜日11時の予約枠を ご用意しています。「も の忘れ」が心配な場 合はまずはお電話でご 相談ください。 *3 通院が困難な方に対し ては医師が計画的にお 宅へ伺う在宅訪問診療 を実施しています。
		村岡 雷太 *8日は休診	市川 篤 【呼吸器】 *30日は休診	村岡 雷太	中林 公正 【腎・リウマチ】	村岡 雷太	
		市川 篤 【呼吸器】 (1日・15日)		関口由希公 【糖尿病】 (3日・17日)	吉野 隆之	市川 篤 【呼吸器】 *26日は休診	
(木:小児科) 9:30~12:00	胃カメラ 小児科			藤田 映輝 *24日は山田		山田 昌樹 (院長)	
午後(火のみ) 14:30~16:30	小児科・ 冷え性外来 *3訪問診療		横井 範子				市川 篤
夜間 17:00~18:30	内科		村岡 雷太	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)		

※横井医師の漢方による冷え性外来を行なっています。ご希望の方は ☎23-1300までお電話ください。

訪問診療も行なっています。 検査結果や薬の名前など用意しておきましょう。

※夜間・休日を受診やご相談がある場合はご連絡下さい。

※検査等できない場合は、他の医療機関に紹介させていただくこともございます。

入院時の
差額ベッド代はいただき
おりません。

お宅までお迎えに伺う個別送迎を行っています。
利用を希望される方は、まずは受付までお電話ください。☎23-1300

なんでも 相談窓口

医療、福祉にかかわらず、「困りごと」がありましたら、まずはお気軽に
窓口へご相談下さい。 ※当院は無料低額診療事業を行なっております。

しあわせ

2019年
4月号
No.296

医療生協さいたま
秩父生協病院
〒368-0016 埼玉県秩父市阿保町1-11
☎0494-23-1300
発行 秩父生協病院 広報委員会

秩父生協病院の
理念 地域の人々とともに、利用者中心の安心・安全の
保健・医療・介護サービスを提供します。

インターネットでの情報は **秩父生協病院** 検索
又は、<http://www.chichibu-ch.or.jp/> です。

当院では在宅訪問診療や個別送迎も行っております。
お気軽にご相談下さい。

訪問看護・訪問介護・ケアプラン・介護相談は

- 生協ちちぶケアステーション
秩父市阿保町1-11 ☎0494-22-9902
- サテライトながとろ
(火曜日・金曜日15:30~17:00)
長瀬町本の上780-1 ☎0494-69-2380
- 生協ちちぶ在宅介護支援センター
秩父市熊木町24-15 ☎0494-25-2077

あんしん連携会を開催しました!

2/22定期巡回随時対応訪問介護看護事業における2018年度第2回目の介護医療連携推進
会議を開催しました。事業担当者、行政、町会、民生委員、地域住民、24名の皆さまにご参加いた
だきました。第一部は定期巡回事業の事業報告、第二部は秩父郡市歯科医師会のご協力により「VR
認知症プロジェクト~認知症を体験しよう~」と題して、動画で仮想世界を体験するVR(バーチャル
リアリティ)を行い、認知症の対応について学びました。参加された方からは「技術や学習という
研修はあっても認知症を体験してみるというのはなかなかない。自分が認知症になってみるという
珍しい体験ができた。」との感想も聞かれ、体験型の学習会は好評でした。今後も事業運営の透明
性及び地域との連携・交流の確保、サービスの質の確保・向上、認知症・高齢者ケアの理解促進・
地域づくり等に努めてまいります。

生協ちちぶケアステーション 所長:江原 君代



異動のお知らせ お世話になりました。



看護師(療養病棟看護長)
大熊 直子
(4月1日付で
熊谷協同病院へ)



栄養士
新井 健之
(4月1日付で
熊谷生協病院へ)



事務
澤野 真吾
(4月1日付で
川口診療所へ)



介護福祉士
大澤 綺
(4月1日付で
老健さんとめへ)



薬剤師
湯本 信也
(4月11日付で
かすかべ生協診療所へ)



任命のお知らせ よろしくお願いたします。



4月1日より
大山 浩子
(3階療養病棟看護長)



4月1日より
富田 裕子
(2階回復期リハビリ病棟看護長)



“喫煙者”外来にご相談ください!

タバコを吸っている方、今はやめるつもりはないが、肺の状態が心配な方、いずれやめたいと思っている方、“喫煙者”外来に相談してみませんか? 肺年齢の検査もできます。まずはお気軽にお電話ください。 受付 ☎23-1300



第4回J-HPHスプリングセミナー参加報告

3月9日、10日に開催された上記セミナーに医療生協さいたまから12名(秩父生協病院から2名)が参加しました。

前半のワークショップでは ①「経済的困窮評価支援ツール」 ②「地域診断と地域づくり」 ③「明日から取り組めるLGBTの患者さんへの対応」 の3つに分かれグループワークを行いました。参加した「経済的困窮評価支援ツール」ではツールの活用方法について理解でき、また、課税世帯の世帯分離について新しい知識を得る事が出来ました。全体会では「台湾における先進的なHPH活動と高齢者にやさしい病院づくりの経験」という題でシュウチ・チョウ氏の講演がありました。

台湾では早くから国を挙げてHPH活動に取り組み、禁煙や減量を成功させてきました。秩父生協病院でも禁煙の取り組みを進めていますが、そのために職員が受動喫煙について学び、患者、職員、地域に啓蒙活動を広げていく必要を感じました。

診療放射線技師:角田 誠一



振動感覚計を更新しました。

検査科:武内 加寿子



検査科では、振動感覚計を更新しました。
この装置は、指頭の振動感覚域値を測定することによりチェーンソーや削岩機等の振動工具取扱いによる振動障害の診断情報を得ることができる装置です。
患者さんの指頭を加振器に軽く当てるだけで測定することができます。
皆様からお預かりした大切な出資金は医療機器の更新にも役立っています。

無料低額診療制度をご存じですか?

秩父生協病院では無料低額診療事業を行っていますが、皆さんご存じだったでしょうか。今回は医療費等の支払いに困った際に利用できる「無料低額診療」について紹介します。



無料低額診療って何?

経済的に困っている人が必要な医療を受ける機会が制限されないように、医療機関が無料または低額な料金で診療をおこなう制度です。

この制度は生活が改善するまでの一定期間の措置ですので、生活保護等の社会資源の活用と一緒に検討しながら健康と生活を立て直していきます。

制度の利用にあたっての注意点

- 制度の利用に関しては所定の申請書による手続きが必要。
- 利用できるかどうかは世帯収入額で判断するため、申請の際には所得を証明できる書類(源泉徴収票など)が必要。
- 制度の対象となるのは、申請した医療機関の医療保険の自己負担金と入院食事代金。

どうやって利用するの?

- ①受付
病院の職員にお声がけください。まずは治療を受けて健康を回復します。
- ②相談
担当する職員(ソーシャルワーカー等)が身体や生活の状況の聞き取りをします。お話を聞きながら今後の公的な制度の活用も含め相談を行います。
- ③申請・決定
手続きの上、医療費等の自己負担金が免除または減額されます。

もっと内容を詳しく聞きたいという方がいましたら、ぜひ相談員まで問い合わせください。

地域連携相談室:大野 智加

摂食嚥下の研修会に参加しました。

普段気にせず食べている行為には何段階もの細かい過程があり、摂食が困難な方にとっては、その一つが出来なくなってしまうだけでも誤嚥につながり命を落とす原因になってしまう事にとっても驚きました。講師の先生が疑似体験できるよう背中が曲がった状態で飲み物を飲んでみるよという事で飲んでみると本能的に飲み込むのが怖いといった印象がありました。

また、段階食の試食弁当ではトンカツの各形態で提供されどれも柔らかく飲み込みやすいので刻み食を廃止できた事が納得できました。

今後、当院でも活用できるように工夫していけたらと思います。 食養科:新井 健之

